

個別事業(取組)評価				
事業No.	30	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	道徳教育重点推進校事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	3,000
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	2,903

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<b>【現状】</b> ◆ 自尊感情、人と関わる力、規範意識に関して、肯定的な回答をした本県の中学生の割合は、全国と比べて3ポイント以上低い。(平成21年度「全国学力・学習状況調査」)	<b>ア 正確に把握していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 平成22年度のデータにおいても、自尊感情、人と関わる力、規範意識に関して、中学生はやや改善傾向も見られるが、肯定的な回答をした本県の小・中学生の割合は全国と比べて低い。  (平成22年度 全国学力・学習状況調査) 自尊感情 (全国比 小学生 -3.5 中学生 -0.2) 人とかかわる力(挨拶) (全国比 小学生 -3.4 中学生 -3.5) 規範意識 (全国比 小学生 -1.5 中学生 -2.1)
		<b>【要因】</b> 現状をもたらす要因の一つとして、 ◆ 道徳教育についての研修が不十分であること ◆ 道徳の時間の指導方法が工夫されていないこと (平成21年度「道徳教育に関する調査」)	<b>イ 十分に特定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 平成22年度のデータにおいても、下記の要因が一番多く挙げられており、当初の分析は正しかったと判断している。(平成22年度「道徳教育に関する調査」) ◆ 道徳教育についての研修が不十分であること ◆ 道徳の時間の指導方法が工夫されていないこと
②	目標(Outcome)	◆ 各推進校の教員の道徳の授業力を向上させるとともに、児童生徒の道徳に関する意識を高める。 ① 各推進校の「道徳教育学校改善プラン」到達目標の検証結果を「概ね達成」以上とする。 ② 各推進校の道徳授業力を年度当初より向上させる。 ③ 各推進校の児童生徒の道徳に関する意識を年度当初より向上させる。 <b>【数値目標】</b> 「道徳の時間の勉強はためになると思う」に対する肯定的な回答を8割以上	<b>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 各推進校の教員の道徳の授業力向上と児童生徒の道徳に関する意識を高めるうえで、妥当な目標を設定していた。  <b>エ 目標は達成されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 推進校の教員の道徳の授業力は、全体を平均すると向上している。(道徳授業力総合診断(4点満点)年度当初3.0⇒年度末3.2) ◆ 児童生徒の道徳に関する肯定的な受け止めの意識は、全体を平均すると向上している。(児童生徒の意識等調査(肯定的受け止め)年度当初83.8%⇒年度末85.7%) ① 道徳教育学校改善プラン到達目標の検証結果は、10校中9校で「概ね達成」。 ② 道徳授業力は、10校中8校で年度当初より向上 ③ 「道徳の時間は好き」「道徳の時間はためになる」「道徳の時間はよく考えている」の各項目における児童生徒の道徳に関する肯定的な受け止めの意識が、年度当初より向上。  <b>【数値目標の達成状況】</b> 「道徳の時間の勉強はためになると思う」に対する肯定的な回答の割合は、92.1%(H22年度末)。
		<b>【検証(比較)方法】</b> ① 「道徳教育学校改善プラン」(検証時期:9月・3月) ② 「道徳授業力総合診断」(検証時期:3月) ③ 「児童生徒の意識調査」(検証時期:3月)	
③	実施内容(Input・Output)	◆ 各推進校において道徳教育の指導体制を確立し、道徳教育を充実する。 <b>【H22～H24の3年間、重点推進校10校指定】</b> (推進校の第1年次の実施内容) ① 道徳教育の全体計画及び道徳の時間の年間指導計画のモデル事例作成 ② 道徳教育推進体制の整備 ③ 道徳教育推進教師を中心とした道徳の時間の充実 ④ 道徳教育学校改善プラン作成による取組の改善 ⑤ 道徳授業力総合診断及び児童生徒の意識等調査など定量的なデータの収集・分析による取組の改善 ⑥ 道徳の時間の公開授業研究や道徳参観日の実施、HPでの道徳教育に関する実践事例の紹介等による取組の公開 ⑦ 先進校視察を学校の取組に活用	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 各推進校において道徳教育の指導体制を確立し、道徳教育の充実を図ることができた。 ① 道徳教育の全体計画及び道徳の時間の年間指導計画 ……全推進校でモデル事例作成 ② 道徳推進組織……全推進校に設置 ③ 指導主事等の訪問指導……全推進校年間合計 154回 道徳授業力……推進校10校中8校で年度当初より向上 ……推進校全体を平均すると向上 (道徳授業力総合診断(4点満点)年度当初3.0⇒年度末3.2) ④ 道徳教育学校改善プラン ……到達目標は、10校中9校で「概ね達成」 ⑤ 児童生徒の道徳に関する肯定的な受け止めの意識 ……全体を平均すると向上 (児童生徒の意識等調査(肯定的受け止め)年度当初83.8%⇒年度末85.7%) ⑥ 公開授業研究……全推進校合計 57回 道徳参観日……全推進校で実施 ⑦ 先進校視察の実施と取組への活用……全推進校で実施

総合評価と今後の方向	目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	<b>【今後の方向】</b> (課題) 各推進校において、道徳教育の充実を図ることはできたが、児童生徒の道徳の時間に対する意識の高まりなどの成果が十分に上がっていない推進校がある。 (対応策) 重点推進校所属市町村に「市町村道徳教育推進地区協議会」を設置し、重点推進校を核として市町村全体で取組を強化するよう指導を行う。
	<b>【総合評価】</b> 重点推進校全体を平均すると道徳授業力及び児童生徒の道徳に関する肯定的な受け止めの意識が向上しており、概ね成果を上げていると言えるが、中には十分な成果が見られない学校もある。今後は、すべての重点推進校が道徳教育モデル校となって、成果普及を行う必要がある。	